

ディボーション質問表



8日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かしたでしょうか？
その事を誰かに分かち合ってみませんか。

9日(月) マタイの福音書 26:1~35節

1. この箇所に出てくる女性は、ヨハネ 12 章では、ラザロの姉妹マリヤと書かれています。彼女のしたことは福音が宣べ伝えられる所ならどこでも語られる、とイエス様が言われたのはなぜでしょうか？ マリヤのしたどのような良い行いがイエス様を喜ばせたのでしょうか(6~13節)？
2. ユダとペテロは、両方ともイエス様が十字架につけられるという現実に向き合っていました。彼らが迫害に向き合ったとき、ペテロとユダはどうしたのでしょうか(14~35節)？

10日(火) マタイの福音書 26:36~56節

1. 36~46節には、ゲッセマネでのイエス様の祈りの様子が書かれています。イエス様はその悲しみを共に悲しみ、その苦しみを共に苦しむ、祈りの友となることを求めておられます。イエス様の祈りから、適用できることを見出しましょう。
2. 47~56節に、3つの武力が描かれています(群衆の剣、弟子の剣、天の軍団)。群衆、弟子、イエス様はどのように武力を扱っていますか？ 武力を行使するとき回避すべき点とイエス様に習う点を挙げてみましょう。

11日(水) マタイの福音書 26:57~75節

1. 自分に不利な状況におけるイエス様の態度とペテロの態度から何を学びますか。人々から拒絶されても真実を曲げず勝利したイエス様が共にいることを覚えていてください。また人を恐れ失敗したが悔い改めたペテロを模範にしてください(69~75節)

*イエス様が裁判を受けられた順序は、四福音書を総合すると、以下ようになる。〔1〕アンナスによる尋問(ヨハネ 18:12~13、19~24)、〔2〕カヤパとサンヘドリンでの裁判(マタイ 26:57~68、27:1)、〔3〕ピラトの法廷での第一審(27:2、11~14)、〔4〕ヘロデによる尋問(ルカ 23:6~11)、〔5〕ピラトの法廷での最終審(マタイ 27:15~26)

12日(木) マタイの福音書 27:1~32節

1. 十字架につけられるまで、イエス様がどのような苦しみを経験したかに目を留めましょう(1~32節)。イエス様の苦しみを思い巡らし、イエス様が私たちのためにしてくださったことのゆえに、神に感謝と賛美を捧げましょう。
2. この箇所に出てくる人々(ユダ、ユダヤ人の指導者、ピラト、バラハなど)の姿を通して、避けるべき行動を見出しましょう。

13日(金) マタイの福音書 27:33~66節

1. この箇所に出てくる人々(ローマ兵、強盗、あざける人々)の姿を通して、避けるべき行動を見出しましょう。
2. イエス様が本当に死なれたことを確認してください。もし死ななかったなら、イエス様のあがないも本物ではなくなるので、私たちは罪から救われません。

14日(土) マタイの福音書 28:1~20節

1. イエス様が死から本当に復活したことを証明するものは何でしょうか(4~15節)？
2. イエス様は復活の後、弟子たちにどのような力を与えられると約束しているのでしょうか(16~18節)？ イエス様はすべての弟子に対して、どのような命令を与えられましたか(19~20節)？